

科目名	言語の構造一般 I (言語学概論)
授業の目標・ねらい	日本語を分析する際、また、学習者の母語の影響を考える際に必要な言語学の基礎的な考え方を学ぶことを目指します。また、今後、受講するさまざまな科目の準備となるような知識の習得を目指します。既に受講している分野については、知識をまとめなおし、理解を深めます。
授業内容・授業方法	言語を分析する際に必要な言語学の基礎を学びます。また、それぞれの知識が、日本語を教える現場にどのように結びつくかを考えていきます。 ・言語の性質 ・言語学の研究分野 ・言語の分類・音声・音韻 ・形態論 ・統語論 ・意味論 ・語用論
予習・復習	予習・復習: これまでに受講した科目で、上記に該当する分野の復習をしておいてください。授業後は、授業時に紹介する文献等で理解を深めてください。
使用テキスト	教室ではプリントのみ使用
参考書等	高橋留美 他(著)『やさしい言語学』研究社、2021、ISBN-13: 978-4327377489
講師名	黄 海萍
所属	外国語学部
研究分野	音声学・言語学
講師紹介	中国南部に居住する少数民族チワン族の言語であるチワン語を対象に、音韻・声調体系および文法構造の研究を専門としている。異なる言語の構造を比較する研究を通して、言語の普遍性と多様性について探究してきた。2008年から2011年まで中国の高等教育機関において日本語講師として勤務し、日本語教育に従事した経験を持つ。学習者の母語が日本語習得に与える影響を言語学的視点から理解することを重視し、日本語教師に必要な言語学の基礎概念を、日本語教育の実践と関連づけながら体系的に解説する。